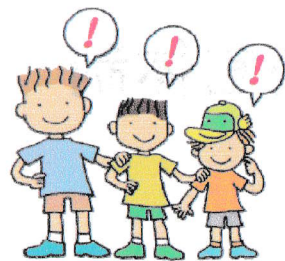


# ようこそ



# eco-T エコットへ!

2017/2/26

NPO法人エコデザイン市民社会フォーラム  
坂本竜児

(元NPO法人とよたエコ人プロジェクト代表理事)

## 目次

1. エコットの概要
2. 主な事業
3. 市民参画の経緯
4. 今後のヒント

## 生活を軸にした環境学習

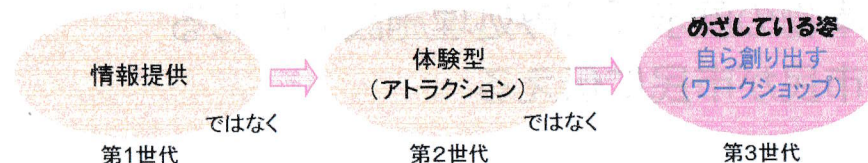
- ごみを通して**循環型社会形成**に関する知識を学ぶ
- 省エネ・新エネ等**地球温暖化防止**に関する知識を学ぶ

豊田市の学習施設

- 生涯学習センター・交流館（中学校区にひとつ）
- 自然観察の森（全国10か所）／トヨタの森（里山自然体験）
- エコフルタウン（低炭素なくらし体感施設）
- すげの里（里山くらし体験施設）
- ものづくり、交通安全、科学体験館・・・

## 施設の考え方

- 生活と環境とのつながりを実感する施設
- 人を介して「気づき」を育む施設
- 「気づき」を行動に結びつける施設
- 参加・体験を軸に市民が作り上げていく施設

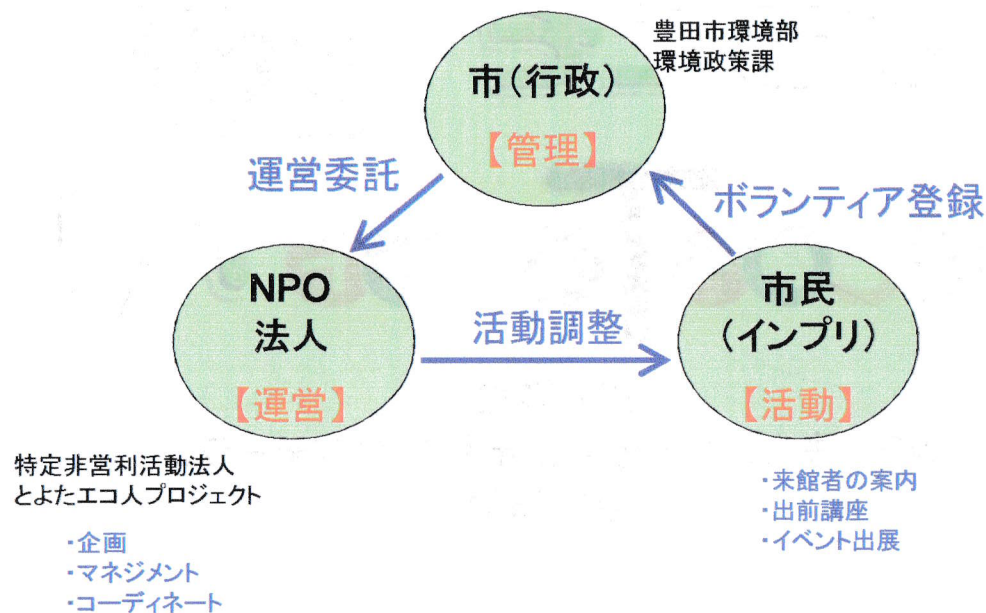


## 施設の目的（手段とゴール）

市民が市民に伝えることで、

42万人の「エコライフ」を目指す

## 運営体制

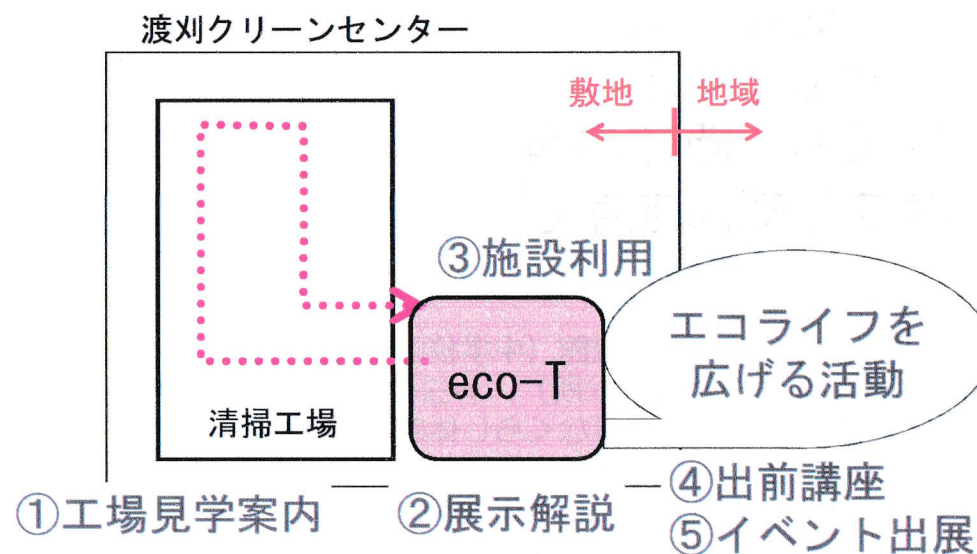


6

## 施設の特徴

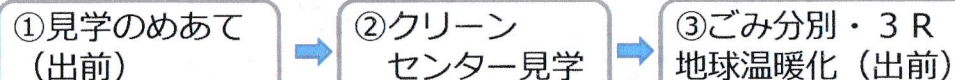
- 目的を持ってくる施設  
ぶらりと立ち寄る立地でない
- 小学校4年生の公共施設見学が第1の顧客  
ベースとなる来館者がいる（継続して）
- サークル活動で使える部屋がある  
繰り返し使ってもらえる
- 本物の展示「ごみ処理施設」がある
- 市民が市民に伝える

## eco-Tの活動範囲





くらしの環境学習推進校（15校）



## 業務内容

1. 運営計画の策定  
年間事業計画の策定、工程・予算管理など
2. 施設運営  
渡刈クリーンセンターの案内、展示解説、施設利用管理など
3. 環境学習  
エコライフを推進するための講座、展示更新、出前講座、人材育成など
4. 連携・ネットワーキング  
環境ムーブメントをつくる活動、他団体（施設）との連携など
5. 共働促進  
市民参画による企画運営、運営会議、共働促進会議など
6. 情報発信  
ホームページの更新、eco-T通信の発行など
7. その他  
報告書の作成、職員研修、次年度計画など

## 運営事業の柱（開設当初）

- ① 施設運営事業  
清掃工場の案内や展示の紹介
- ② 環境学習事業  
エコライフを広げるための講座など
- ③ 市民参画促進事業  
エコライフを推進する人材の育成や運営を担う組織づくり

## 経緯

- 施設見学の受入れ  
人材育成と仕組みづくり
- 講座やイベントの充実  
見学以外の魅力づくり
- 広報活動  
eco-T通信、広報とよた、新聞等
- 相談出前対応  
小学校出前授業、地域との連携
- 地域への広がり  
世代や興味別アプローチ、他施設や商店街、農山村との連携

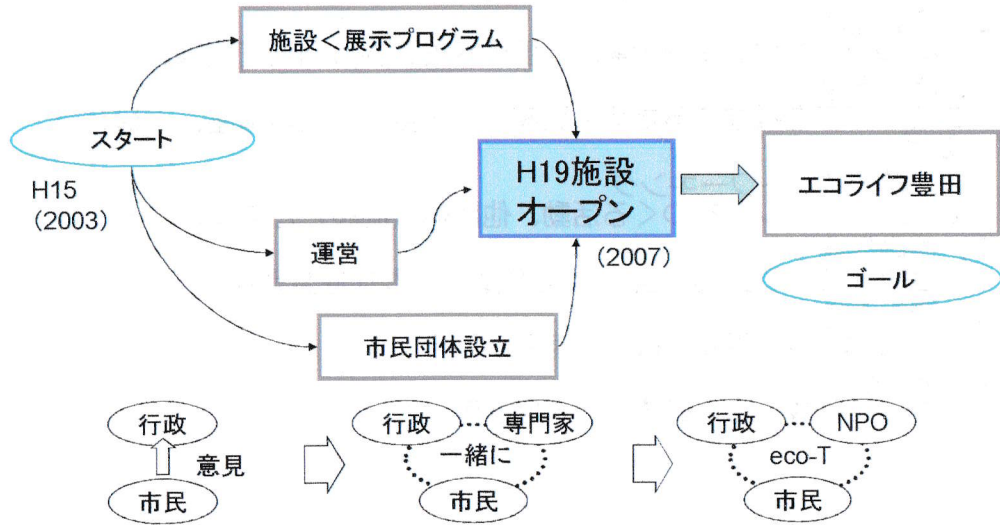
平成19年度

あつらえの運営  
出来合いではなく  
(オーダーメイド  
ハンドメイド)

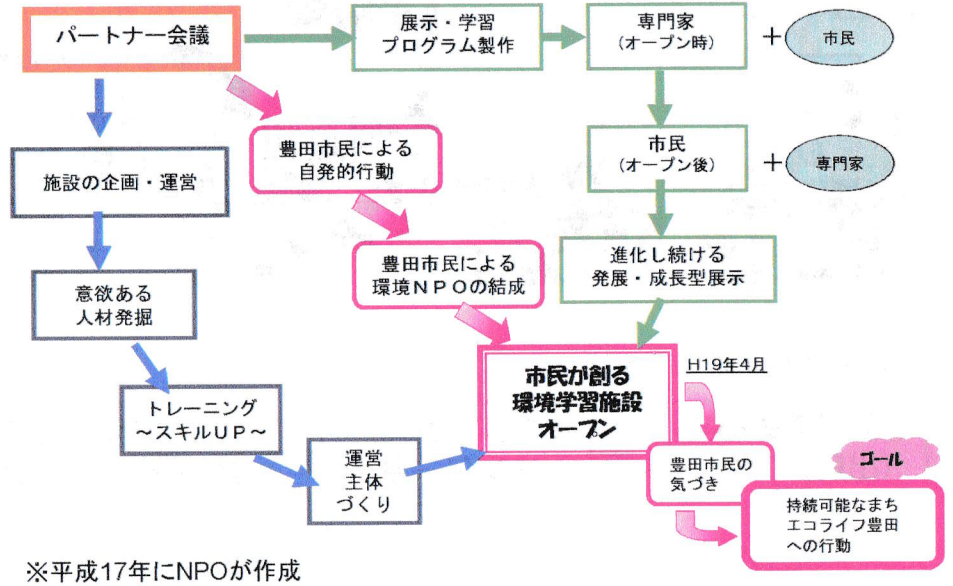
学びあいの輪

平成20年度

# ロードマップ



# 市民参画のゴール



# 行政・事業者視点のプロセス

- 平成15年度 (2003) 環境学習施設基本計画策定
- 平成16年度 (2004) 運営利用計画及び展示設計委託
- 平成17・18年度 (2005,6) 展示物製作  
建物建設工事 (11月末完成予定) 展示製作
- 平成19年度 (2007) 豊田市環境学習施設eco-T (エコット) 学習事業

# 市民視点のプロセス

- 平成15年度：基本計画策定ワークショップ
- 平成16年度：作戦会議、類似学習施設の視察
- 平成17年度：パートナー会議  
展示学習プログラムの製作及び運営を検討
- 平成18年度：展示製作ワークショップの開催  
愛称募集⇒公開審査会  
展示解説ボランティア育成講座

# 市民参画

## 計画→決定→実施→評価

- 市民が主役
- 行政は支援者
- 専門家はコーディネーター（仲介・通訳）
- 市民、行政、専門家はパートナー（三位一体）

# 市民参画の成果

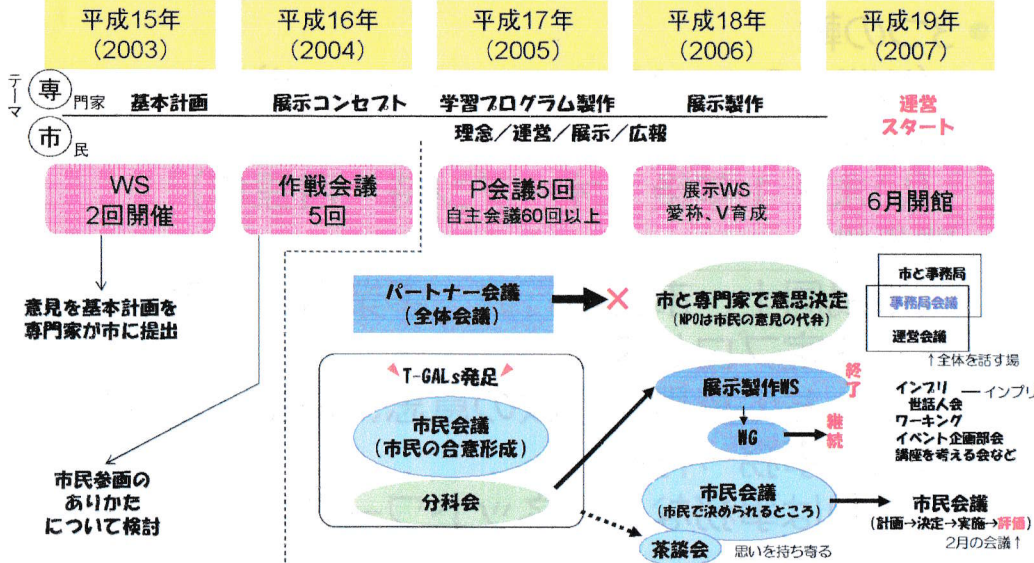
平成15～18年度（準備段階）

- 施設への思い
  - ・ 事実を伝える施設にしたい
  - ・ ライフスタイルを転換させる施設にしたい
  - ・ リピーターが来る施設にしたい
- 環境学習プログラム
  - ・ 市民から100以上のアイデア
  - ・ 完成した20のうち半分は市民の企画
- その他
  - ・ 調理室
  - ・ ユニフォーム
  - ・ 愛称（eco-T）

平成19年度～（オープン後）

- 運営の枠組み
  - ・ インタープリターの活動時間割
  - ・ 交通費支給のあり方
  - ・ 見学通路の安全対策
- 活動改善の仕組み
  - ・ インタープリター世話人会
  - ・ VOICE（インプリ同士の提案制度）
  - ・ 展示の更新
- 市民団体設立
  - ・ 設立呼びかけ人会（H19）
  - ・ 平成20年12月法人設立総会（H21年3月法人格）
  - ・ 平成22年度から市民団体が運営

## 会議体から追うおおまかな経過



## 展示製作ワークショップ

10月1日パートナー会議での決定内容	展示製作ワークショップ カテゴリー分け(案)	市民	豊田市	専門家
116のアイデア	A team ①ぐるぐるリサイクル ②「ダイエット作戦」	◎	△	○
	B team ③「未来のくらし」	○	△	◎
	C team ⑤「人力発電機」	○	△	◎
	D team ⑦「もったいない！クッキング」	◎	△	○

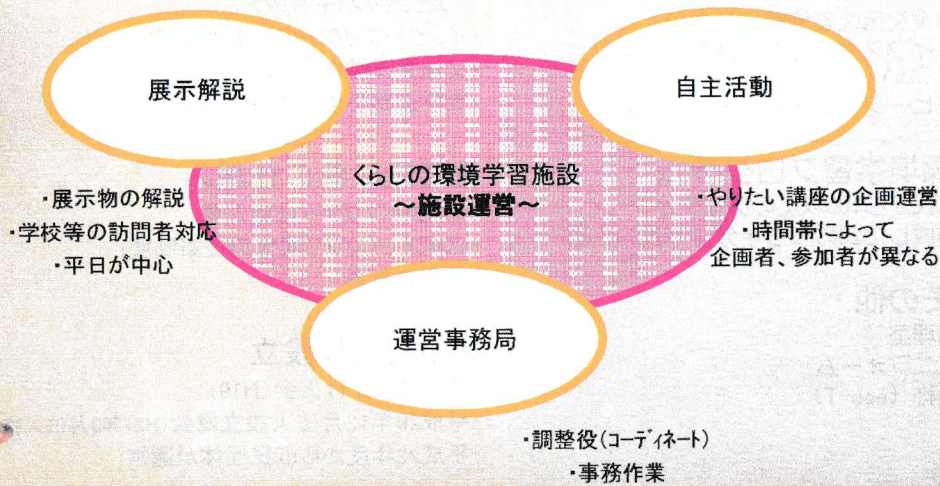
①ぐるぐるリサイクル  
②「ダイエット作戦」  
③「未来のくらし」  
④「ロゴマーククイズ」  
⑤「人力発電機」  
⑥「じゅんちゃんとかんた君」  
⑦「もったいない！クッキング」  
⑧「行ってみよう！見てみよう！聞いてみよう！」  
⑨「環境図書館」「PCコーナー」

その他  
④「ロゴマーククイズ」  
⑥「じゅんちゃんとかんた君」  
⑧「行ってみよう！見てみよう！聞いてみよう！」  
⑨「環境図書館」「PCコーナー」

※④ロゴマーククイズは取材行為が多くなるため、市民もしくは専門家による対応がベターか？  
※⑤キャラクター開発は広報分科会での検討を。  
※⑧⑨については、今後 豊田市、関係機関との協議により推進する。

展示コンテンツ(情報)製作にあたって  
◎: 主管 ○: サブ △: フォロー

## 施設の運営の3つのかかわり



## 市民の関わり方

かかわり	分科会	理念	運営	企画	広報
	助言・アドバイス				
市民参画					
環境学習の担い手					
運営を担う(事務局)					

どこの部分を担いますか？

### ● 論点

- 市民参画で目指すところはエコライフ豊田です。私たちの最終ゴールはどんなイメージですか？
- 施設のオープンまで1年です。どこを目標に市民参画を進めますか？
- 私たちの意見が取り入れられた施設です。私たちが何を担いますか？
- いろいろな思いを持った人が集っています。どのように意見を取りまとめますか？

## ヒント！ 富士市のみんなへ

- 3つの輪  
(Will・Can・Must・need・seed) **Want ×**
- 時間軸  
(いま・1年後・オープン時・目標年)
- 関係性  
(市民同士、市民⇔行政・事業者、顧客)
- 意思決定プロセス  
(私たちの意思、行政の意思、決定・承認)
- 意見→事務→行動  
(運動は事務なり、ネットワーク)